

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170200968		
法人名	合資会社 笑顔と思いやりの和		
事業所名	グループホーム和		
所在地	札幌市北区篠路4条8丁目9番1号		
自己評価作成日	平成28年9月27日	評価結果市町村受理日	平成28年10月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigrosyoCd=0170200968-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年10月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が、居心地良いと思えるアットホームな環境作りと家族も来訪しやすく不安や希望が伝えやすい環境作りに努めています。又事業所の周囲は地域の方の畑や、公園に囲まれているので、色々な植物がみられ、四季を感じながら過ごせます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム和」はJR篠路駅から徒歩5分程の交通便が良い、静かな住宅地に建っている。建物の2階が1ユニットのホームで、1階に同一法人の小規模多機能ホームを併設し、運営推進会議や避難訓練を合同で行い、利用者は双方に行き来している。法人代表で看護師資格のある管理者は、平成14年に自宅を開放して5名の利用者でグループホームを開設し、その後9名のユニットで移転している。平成22年に少し離れた現地に新築し、小規模多機能型の居宅介護サービスが利用者の暮らしにも影響して活性化されてきた。車椅子使用の方も隣接している公園や遊歩道を散歩したり、ベランダで公園などを眺めて季節感を感じている。利用者の重度化に伴い管理者の他に看護師資格がある職員との体制で、協力医の判断、指示の下に医療行為等も行い可能な限り個々の状態に合わせて対応している。元気な方は買い物やホテルでのランチ等を楽しんでいる。地域との繋がりを大切に、町内会の花見に料理等を提供したり、また避難訓練には町内会役員、近隣住民、地域消防団の協力を得て行っている。介護計画を3カ月毎に見直し、全員参加を基本に会議でモニタリング・評価を行っている。管理者と職員は利用者の想いを受け入れて、一人ひとりのニーズに沿って丁寧で温かなケアと家庭的な暮らしを支えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、管理者・職員が共有して実践につなげるようにしている。	法人共通の運営理念3項目に、利用者の安心と尊厳を守り、常に公正で対応し、地域社会に役立つという内容を盛り込んでいる。管理者は会議などで理念の精神を指導し、理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	仕事を行う時は、地域に声掛けを行い、交流を深めながら地域とつながりを築いている。	町内会の花見には、主に元気な利用者が参加し、参加が難しい時も料理や飲み物を届けて住民との関わりを大切にしている。事業所の行事などに近所の子供達が遊びに来たり、駐車場で小学生の踊りや太鼓の演技を観て楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会に加入し、事業所行事に参加してもらうことで、地域の人々に向けて活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回のペースで行い、町内会長・地域包括地支援職員・家族参加により情報交換することで、サービス向上に努めている。	同一法人事業所と合同で会議を持ち、地震・水害の話題やサービス評価について意見を交換している。町内会から情報を得るとともに、管理者は認知症に重要な食事や薬の管理について情報を提供している。全家族に議事録を送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者・ケアマネが日頃から連絡を密に取り、サービス向上に取り組んでいる。	管理者は電話で在宅高齢者について相談を受けたり、地域包括支援センター職員の依頼で訪問することもある。事情によって保護課につなぐなど、地域との関わりの中で行政担当者と協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを掲示し、職員は指定基準を正しく理解している。カンファレンスや、日々の情報交換をしながら拘束しないケアに取り組んでいる。	全体会議や日々の申し送りで、身体拘束にならないかを事例を基に確認している。車椅子移動や食事を介助する時に指示的な言葉がけにならないように注意し、利用者が安心できる対応を話し合っている。虐待・身体拘束禁止について、外部研修の受講を検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者及び職員は、高齢者虐待防止法等について、学ぶ機会をもち、メディア等の情報等を話題にあげ、注意、防止に努めている。		

グループホーム 和

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や、成年後見人制度の概要説明を必要時おこなっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に契約書を渡し、熟読後不明及び疑問点を確認し、理解、納得ができるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族も参加してもらい、意見、要望を外部者へ表せる機会を設けている。	遠方の家族には電話連絡や郵送で利用者の様子を伝えている。家族の来訪時には職員も対応し、介護計画の意向も確認している。意見などは日誌や個人記録に記載している。今後は通信に本人の写真を載せて個人ごとに送りたいと考えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員ミーティングを行い、意見や提案を聞く機会を設けている。	法人合同の全体会議のほか、必要に応じて事業所でミーティングを持ち、特にケアについて活発に話し合っている。管理者は特に夜勤の際に職員の想いを聴き取っている。夏と冬には有給を含めて1週間ほどの休暇を勧めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に勤務状況を把握し、職場環境条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員一人ひとりの把握に努め、講習、研修の機会を設け、又トレーニングしていくことを勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	講習や研修に参加することで、同業者と交流の機会を作り、サービス向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の情報をしっかり把握し、本人に合わせた声掛け、対応を心がけながら関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からもしっかり情報を得ることで、不安や要望を伝えやすい環境及び関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始の段階で本人家族としっかり話し、必要とする支援を見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として家事方法等を聞くなど、支えあう関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には常に本人の状態を知らせ、共に支えていけるよう関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族の申し出がない限りどなたでも来訪できるようにしている。	家族の協力でお墓参りや、親戚の人が遠方から来た際に自宅に外出することもある。近所の知人や同級生が継続して来訪している。職員の同行で近くのコンビニや神社に立ち寄ったり、ホテルでランチを楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の際に、同じテーブルに座ってもらい会話をしながら、ゆったりとして時間を共有してもらうようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後御も近況確認をしている。又家族から相談があれば応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が、希望や意向を伝えやすい環境づくりを行い、把握に努めている。	会話が難しい場合は日常の動作を見て検討し、理解ができる方には介護計画の内容を説明している。状態が変わった時には、アセスメント表や日計表を更新して状態を把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス開始での情報収集や、日々の日常の会話から、経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	サービス担当者会議、日々の申し送りで、一人ひとりの現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月カンファレンスを実施。意見や情報交換を行い、計画作成をしている。	毎月会議で全利用者の状態を確認し、3ヵ月毎に、ほぼ全職員の参加でモニタリング、評価を実施し更新計画を作成している。記録は介護計画の項目欄を入れた書式に変更して日々の記録を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録の充実に努め、申し送りカンファで情報交換しながら、実施・計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に本人のニーズに対応できるよう、支援やサービスの多機能に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	段ボール箱を提供し、町内会会長の協力の元、公園清掃などを行い楽しみながらくらすよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	一人ひとりの状態に合わせ、往診・受診を行っている。	利用開始時に受診先を話し合い、全員が協力医の訪問診療を受けている。必要な時には夜間の往診もある。専門的な他科受診は事業所に対応し家族に結果を報告している。受診記録は新しく書式を作り、個人ごとに整備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は職場看護師に状態報告並びに相談を行い、受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の電話連絡や介護添書を提出し、関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した指針を元に、家族及び往診医等を交え話し合い、支援に取り組んでいる。	利用開始時に重度化対応指針を口頭で説明し、状態の変化に応じて関係者で方針を確認している。その際に「重度化した場合における(看取)指針」を再度説明し、同意を交わしている。主治医の指示の下に、医療行為も可能な限り対応している。	「重度化した場合における(看取)指針」について、利用開始時に、文書で同意を得ることを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職場看護師から対応の助言を受け、急変又は事故に備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い、地域町内の方々と直接電話連絡ができるよう連携し、協力体制を築いている。	夜間想定避難訓練の内、2月に自主訓練を行い、9月には消防署立会いで町内会役員や近隣住民が参加して事業所内で避難誘導の協力も得ている。地震を想定し危険箇所やケア別の対応を確認しているが、マニュアルなどは整備されていない。	事業所独自で各災害を想定したマニュアルを作成し、職員間で共有することを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーを確保できるよう対応に努めている。	利用者の呼びかけは「さん」づけとし、職員は丁寧な言葉遣いで利用者に対応している。記録類は利用者から少し離れた場所で記入し、ファイルも見えない場所で保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の声掛けや思いが、伝えられるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の思いや希望を確認しながら支援するよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みの洋服、ケア用品を用意してもらい、身だしなみやおしゃれができるよう支援している。		

グループホーム 和

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいもの、好きなものを聞き、食事の準備をお手伝いしてもらっている。	管理者が利用者の嗜好や能力を考慮して献立を作成して、提供している。利用者は能力に応じて調理や盛り付けや後片付けを行っている。職員も一緒に会話しながら同じ食事をとっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量チェック表を用い、一人ひとりの状態を把握し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じ声掛け介助を行い、口腔の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、指導、おむつ交換を行っている。	水分・排泄記録により個々のパターンを把握し、羞恥心に配慮しながら誘導・介助を行っている。介護度が進み、部屋でオムツ交換を行う利用者が増えているが、個々の状況に合わせた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師にも助言してもらい、水分量を調整したり、腹部マッサージ等を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その日の状態、気分等を確認し、入浴できるよう支援している。	各利用者が概ね午前の時間帯で週2回以上の入浴を行っている。拒否がある場合は声かけの工夫で入浴につなげている。入浴剤を使ったり会話を楽しみながら気持ちよく入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の環境整備に努め、個々の好みの家具等を使用し、安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬一覧表を作成し、服薬の重要性を理解でき、支援ができるよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ることを活かしながら、掃除や洗濯ものをたたんだり、散歩他フロアーとの交流を行い、気分転換等の支援をしている。		

グループホーム 和

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの状態及び希望に応じて、散歩や外出をしている。	日常的に隣の公園や近くの遊歩道、神社などに散歩に出かけている。外出が難しい方もウッドデッキで外気浴ができる。行事では、花見やぶどう狩り、地域のお食事会、バイキングレストランやホテルでの外食に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事故管理が可能な人は所持している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じ、電話をかけたたり、手紙の投函をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて掲示物を変えたり、危険物は除去に努め、安心・安全に過ごせるようにしている。	室内は木目調の家庭的な造りで、中心に居間と食堂があり、キッチンから全体を見渡すことができる。居間からはウッドデッキに出ることができる。利用者の顔写真やカレンダーなどが飾られ、窓からは街並みや畑を見て季節を感じられる。温度、湿度、明るさも調整され快適である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファ、窓際には椅子を置き、好きな場所でくつろげる工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人の愛用の物を持ってきてもらい、家具の設置場所は本人及び家族と相談しながら行っている。	居室は、利用者が使い慣れた本棚や椅子、時計、洋服などを自由に持ち込むことができ、居心地よく過ごせる場所となっている。壁にも花の飾りなどを自由に装飾している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活ができるよう、日常使用する物はわかり易くしている。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム 和

作成日：平成 28年 12月 1日

市町村受理日：平成 28年 10月 27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	「重度化した場合における(看取り)指針」について、利用開始時文章で同意を得ることが必要。	「重度化した場合における(看取り)指針」について、文書で同意を得る。	「重度化した場合における(看取り)指針」の文書を作成し、同意を得た。	達成済み
2	35	事業所独自で各災害を想定したマニュアルが無く、職員間での共有が必要。	各災害を想定したマニュアルを作成すると共に、職員間での共有に努める。	各災害を想定した対応を職員間で話し合い、マニュアル作成を行う。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。